

世界史 A

(解答番号 1 ~ 32)1 次の文章と図版に関連して、問1～問2に答えよ。

愛媛県の村上さんは、松山銘菓のタルトの由来に興味を持ち、南蛮菓子について調べて、カード1～カード3にまとめた。

カード1

カステラ生地であんを巻いてロールケーキ状にしたタルトは、明治以降に南蛮菓子から発展したものである。伝承では、1647年に長崎にポルトガル船が現れた際、警備に当たった松山藩主・松平定行が、南蛮菓子に接して製法を持ち帰らせたのが起源とされている。



カード2

16世紀半ばのポルトガル人の来航を
(a) きっかけに日本にもたらされた南蛮菓子は、豆や穀類からつくった餡ではなく、砂糖を使う点が特徴だった。17世紀以降、日本でも砂糖の流通量が拡大すると、砂糖菓子がつくられるようになった。カステラ、ボーロ、金平糖などが有名である。

カード3

砂糖の原料のサトウキビは熱帯の作物で、製糖は北インドで始まったとみられる。西方では、7世紀以降、イスラーム勢力の拡大とともに広がり、ポルトガル人も、サトウキビの栽培法と製糖技術をイスラーム教徒から学んだとされる。これによって、南蛮菓子のもととなる砂糖菓子が生み出された。

- 問 1 下線部分^(a)16世紀半ばのポルトガル人の来航について、ポルトガルが日本に来航する拠点とした港の名と、下線部分^(b)砂糖について述べた文との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 1。

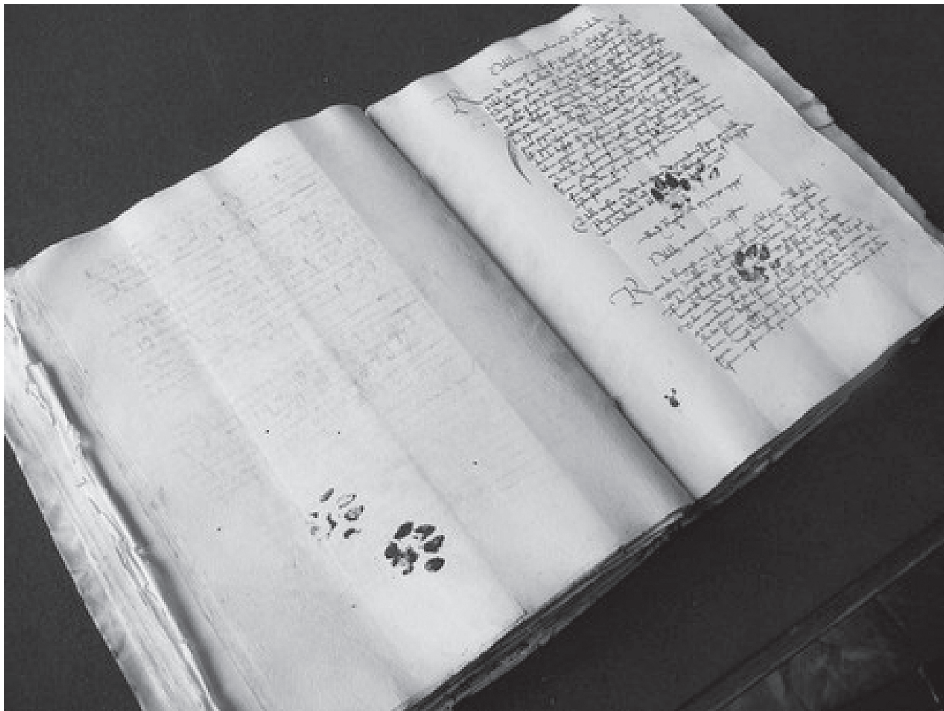
	ポルトガルが拠点とした港	砂糖について述べた文
①	マカオ	茶貿易の赤字を補うために、インドから中国へ輸出された。
②	マカオ	カリブ海地域で大量に生産され、三角貿易でヨーロッパにもたらされた。
③	シンガポール	茶貿易の赤字を補うために、インドから中国へ輸出された。
④	シンガポール	カリブ海地域で大量に生産され、三角貿易でヨーロッパにもたらされた。

- 問 2 下線部分^(c)イスラーム勢力の拡大とともに広がり、ポルトガル人も、サトウキビの栽培法と製糖技術をイスラーム教徒から学んだことの背景として考えられる事柄について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 2。
- ① ウマイヤ朝が、イベリア半島まで勢力を広げたことが背景にあると考えられる。
- ② モンゴルの遠征軍が侵入し、イル＝ハン国を建てたことが背景にあると考えられる。
- ③ フン人の侵入をきっかけに、ゲルマン人が各地に移動したことが背景にあると考えられる。
- ④ サファヴィー朝が繁栄し、ヨーロッパ商人が訪れるようになったことが背景にあると考えられる。

2 次の文章と図版に関連して、問1～問4に答えよ。

人間にとって最も身近な動物の一つであるネコは、紀元前 1500 年頃、古代エジプトの農耕文明^(a)で家畜化された。収穫した穀物を食べるネズミは農耕社会の大敵だったが、ネコはネズミを食べることから、人の近くでの生活が始まったのである。その後、商人がネコとともに移動するようになり、ネコの生活の場は広がった。例えば、インドから仏教の経典が中国に運ばれる^(b)とき、ネコも一緒に旅をすることがあった。日本にも、船の中で仏教の経典などをネズミから守るため、ともに連れて来られたと考えられている。

一方、ネコは人を助けるばかりではなく邪魔もしたようで、ネコの足跡のついた古文書は、日本や東ヨーロッパなど各地で見つかっている。もっとも、そんな性格も魅力だったようで、イスラーム教の開祖ムハンマド^(c)には、寝ていた飼いネコを起こさないように服の袖を切り落とし、片袖のない服で外出したという言い伝えがあるほどである。そのためか、イスラーム教徒の間では、ネコを大切にする風習がある。



ネコの足跡がついた古文書

15 世紀中頃、東ヨーロッパで商人が使った手紙の記録簿

問 1 下線部分^(a)古代エジプトの農耕文明について説明した次の資料を読んで、古代エジプトの農業について述べた文を、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 3。

資料

この地域の住民は、あらゆる他の民族…に比して、確かに最も労少なくして農作物の収穫をあげているのである。鋤^{すき}であぜを起こしたり、鋤^{くわ}を用いたり、そのほか一般の農民が収穫をあげるために払うような労力は一切払うことなく、河がひとりでに入ってきて彼らの耕地を灌漑^{かんがい}してまた引いてゆくと、各自種をまいて畑に豚を入れ、豚に種を踏みつけさせると、あとは収穫を待つばかり。それから豚を使って脱穀し、かくて収穫を終えるのである。

- ① 干ばつに強い占城稻が伝来した。
- ② 大河の定期的な洪水を利用した。
- ③ トウモロコシやジャガイモを栽培した。
- ④ 耕地は、3年に1回は休耕地とした。

問 2 下線部分^(b)インドから仏教の経典が中国に運ばれるに関連して、7世紀にインドから中国へ多くの仏教の経典を持ち帰った人物を、次の①～④のうちから一つ選べ。
解答番号は 4。

①



玄 奘

②



孔 子

③



イブン＝バットゥータ

④



イグナティウス＝ロヨラ

問 3 下線部分東ヨーロッパ^(c)を中心にギリシア正教を広めるきっかけをつくり、コンスタンティノープルを都とした国を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 5。

- ① インカ帝国
- ② マラッカ王国
- ③ ビザンツ帝国
- ④ マリ王国

問 4 下線部分イスラーム教の開祖ムハンマド^(d)が生まれ、商人として活動していた都市名と、その都市の略地図中のおよその位置との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 6。



	都 市	位 置
①	メッカ	あ
②	メッカ	い
③	アグラ	あ
④	アグラ	い



3 1～2の文章と図版に関連して、問1～問5に答えよ。

1 生徒と先生が、図1を見ながら会話している。

先生： この絵を見てください。何の動物に見えますか。

生徒： サイです。でも、本物のサイとは少し違うようにも見えます。なぜでしょうか。

先生： この絵はルネサンス期^(a)のドイツ人画家、デューラーによって作成された木版画です。そのように見えるのは、彼が本物を見て描いたわけではなく、1515年にポルトガルの首都リスボンにいたサイのスケッチを参考にしたからでしょう。

生徒： 当時のポルトガルには、サイが生息していたのですか。

先生： いいえ、違います。このサイは、インドから運ばれてきたものです。ポルトガルから派遣された船団が、1498年、カリカットに到達し、新航路を開拓^(b)しました。サイは、そのインドから送られてきたのです。

生徒： このサイは、その後どうなったのですか。

先生： リスボンからローマ教皇のもとに運ばれる途中に、船が難破して溺死^{できし}してしまったそうです。

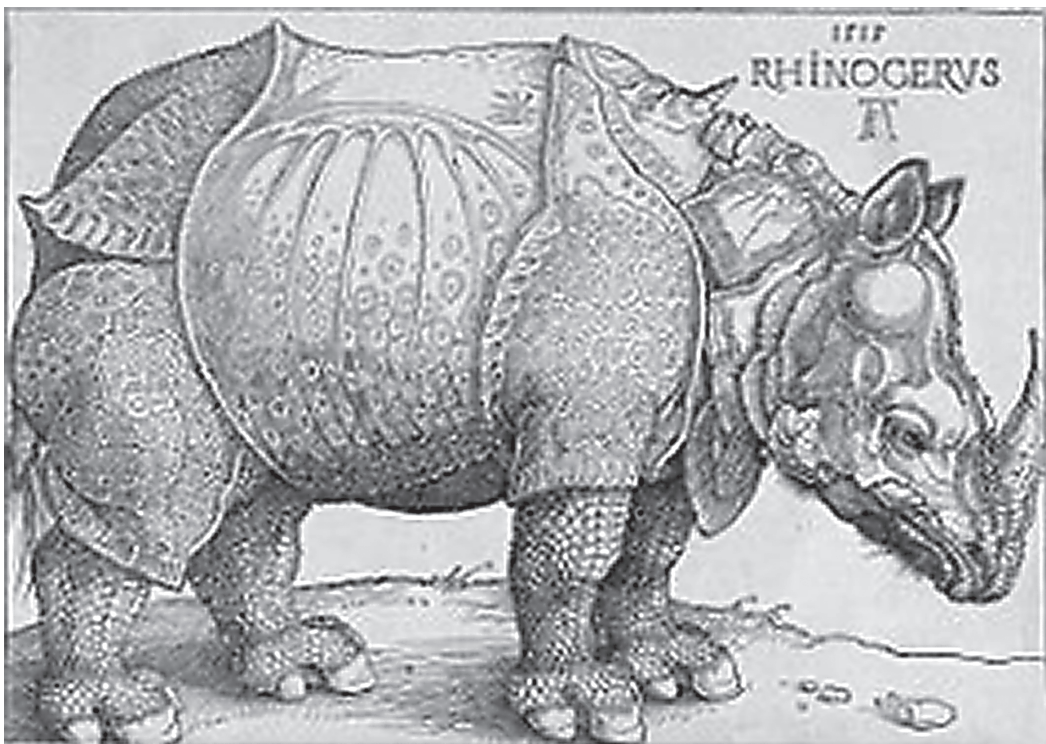
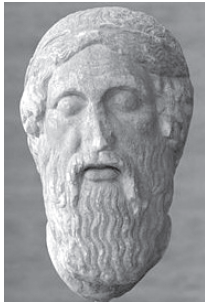


図1

問 1 下線部分ルネサンス期に活躍した人物を，次の①～④のうちから一つ選べ。

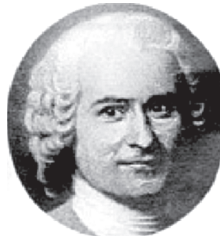
解答番号は 7 。

①



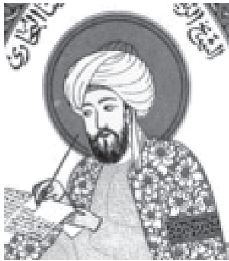
ホメロス

②



ルソー

③



イブン＝シーナー

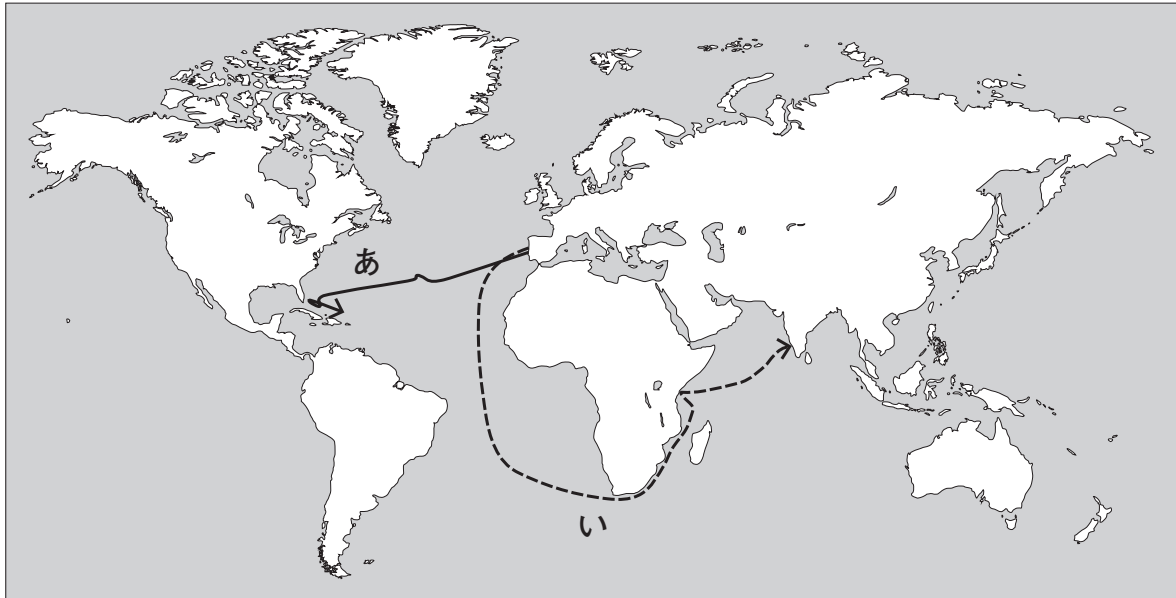
④



ミケランジェロ

問 2 下線部分 1498 年，カリカットに到達し，新航路を開拓した人物と，略地図中のその人物
(b)
が通ったおよその航路との組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 8 。



	人 物	航 路
①	ヴァスコ＝ダ＝ガマ	あ
②	ヴァスコ＝ダ＝ガマ	い
③	マテオ＝リッチ	あ
④	マテオ＝リッチ	い

2 図2は1617年に発行された、宗教改革100周年を記念したポスターである。このポスター内では、Aの人物が扉にペンで文字を書いている。これは1517年の宗教改革の発端となった出来事^(d)を表しており、この人物が書いている内容は「九十五カ条の論題」とされている。そのペンの柄が長く伸び、Bの人物(ローマ教皇レオ10世)の頭を突き、頭から冠が落ちている。これはAの人物が教皇の権力を否定していることを表しており、教皇が許可をして行われた出来事^(e)を改めて批判している。これが一因で宗教改革が発生した。宗教改革が発生した1517年以降、ヨーロッパでは宗教上の不寛容により数々の宗教戦争がおこっており、1617年の翌年、三十年戦争^(f)が勃発するのである。

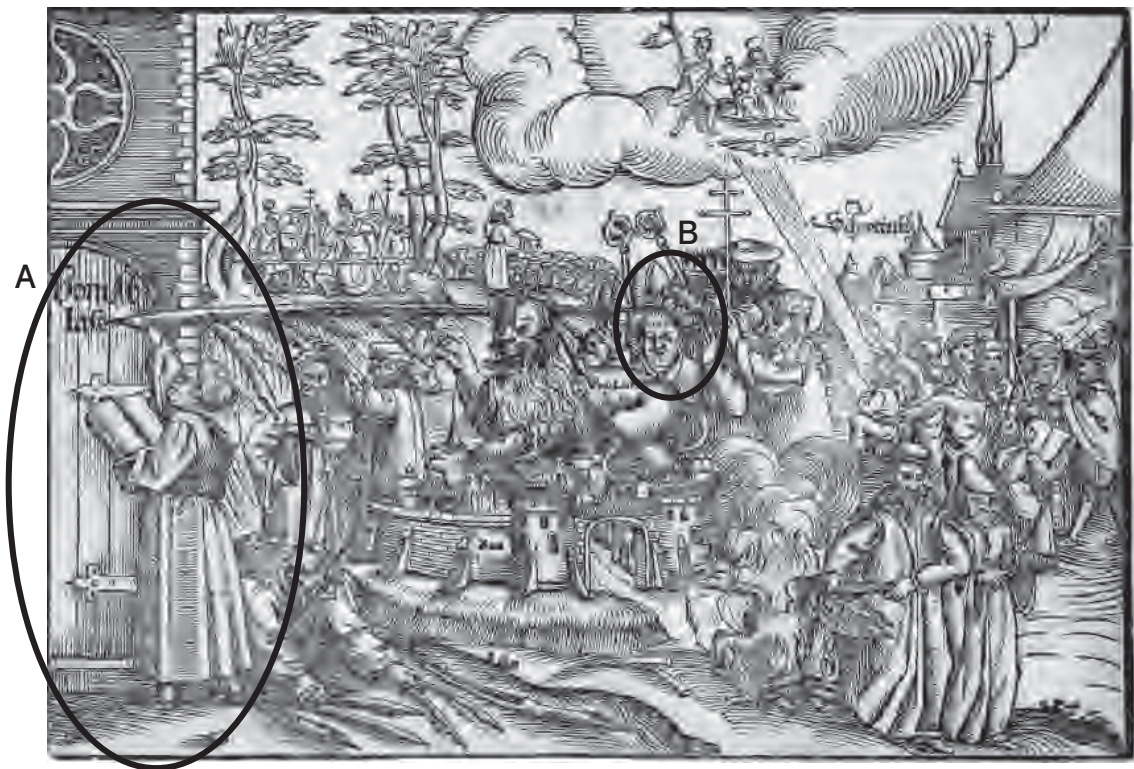


図2

問3 下線部分宗教改革100周年^(c)とあるが、1517年からの100年間で起きた出来事として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 9。

- ① ローマで、第1回三頭政治が始まった。
- ② 隋の煬帝により、大運河が建設された。
- ③ インドで、ムガル帝国が建設された。
- ④ キューバ危機がおこった。

問 4 下線部分^(d)Aの人物と、下線部分^(e)教皇が許可をして行われた出来事との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

	人 物	出来事
①	トマス＝アキナス	贖宥状(免罪符)の販売
②	トマス＝アキナス	コミンテルンの結成
③	マルティン＝ルター	贖宥状(免罪符)の販売
④	マルティン＝ルター	コミンテルンの結成

問 5 下線部分^(f)三十年戦争の説明として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11。

- ① 三段櫓船のこぎ手として、無産市民が活躍した。
- ② 講和条約として、ウェストファリア条約が締結された。
- ③ 白蓮教徒の蜂起から始まった。
- ④ 戦争中に、ホームステッド法が制定された。

